

### 5月の予定

- 5日 きっず・らんど  
5月生まれの人に祝福のお祈り
- 12日 母の日 プレゼント作り
- 19日 ビデオ&詩篇朗読&書き取り
- 26日 お話&詩篇朗読&書き取り

### チャレンジ! 暗誦聖句

高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちが引き離すことはできません。

ローマ人への手紙 8章 39節

# るばるのこ



加古川福音キリスト教会日曜学校部 発行  
牧師 楠橋 清隆・喜代子  
TEL 079-425-1406

## 教科書にできるクリスチャン偉人伝 『キング牧師』

キング牧師ことマーティン・ルーサー・キング・ジュニアは、1929年1月15日、アメリカ南部のジョージア州アトランタで生まれました。父は黒人教会の牧師でした。

当時、リンカーンの奴隷解放宣言から70年以上経過していましたが、黒人への差別は根深く、トイレやレストラン、水飲み場やベンチさえ白人用と黒人用に区別されていました。バスの座席も、黒人は白人に譲らなければならないと法律で決められていました。15歳の時、白人の乗客に席を譲ることを強要され、144キロの道のりを立ったままバスに乗ることになった彼は、黒人差別の厳しい現実を思い知ります。モアハウス大学で、ベンジャミン・メイズという素晴らしい教育者と出会ったマーティンは、黒人解放のため教会は大きな役割を担っている、キリスト教の教えが黒人を救うと考えるようになりました。19歳で牧師になり、さらにクローザー神学校にて、学びを深めた彼は、インドの指導者ガンディーの『非暴力』の思想を知りました。憎しみではなく、愛の力で人を動かすという考えは、その後の彼の運動の核となりました。

1955年12月ローザ・パークスという女性が、バスで白人に席を譲ることを拒否し逮捕されました。この事件に抗議し、キング牧師の呼びかけで、バス・ボイコット運動が始まりました。その初日の夜、彼は教会で、暴力を使わず、良心に従い、差別する者への愛を忘れずに闘うことを力強く説いたのです。その言葉は多くの人々を感動させ、非暴力の闘いを続ける力となりました。1956年11月、アメリカ連邦最高裁判所が、人種隔離法は、憲法に反すると通達を下しました。差別への闘いの勝利です。牧師は、人々に、「黒人が白人に勝ったというよりも正義と民主主義の勝利です」と呼びかけたそうです。この勝利をきっかけに、黒人も白人と同様に政治に参加する権利を求める運動が南部に広がりました。運動を貫く非暴力の思想は、白人の共感も呼び賛同者が現れました。しかし、その一方で、差別は続き、キング牧師も度々命を狙われました。彼は、粘り強く差別の撤廃を叫び続け、ついに1964年7月公民権法が成立したのです。同年10月彼はノーベル平和賞を受賞しました。

公民権法が成立しても、すぐに黒人への差別がなくなったわけではありません。黒人たちが真の自由と平等を勝ち取るため、キング牧師は闘い続けました。そして、1968年4月39歳の若さで暗殺されてしまったのです。

彼の死後、公民権法によって機会を与えられた黒人が様々な分野で活躍しています。非暴力で差別と闘った彼の志は、今も受け継がれているのです。

### 編集後記

長女の中学校の英語の教科書にキング牧師のスピーチが紹介されています。

『私には夢がある』という言葉は7回もはさんだそのスピーチは

1963年8月28日、

リンカーン記念堂広場前に集まった25万人の人々に向けて語られました。

『われわれがすべての村や集落、洲や町で、自由の鐘を鳴り響かせるときこそ、黒人も白人も、ユダヤ教徒も異教徒も、すべての神の子たちが、手に手を取って、昔の黒人霊歌の言葉を口ずさむ日を早めることができるのだ。』

ついに自由になった!

ついに自由になった!

全能の神に感謝します!」

憎しみは憎しみを生み、暴力は暴力を生む、とキング牧師は語っています。人間の力による解決を求めず、神の正義を求めて闘ったその姿に、深い感動を覚えました。

「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて

志を立てさせ、事を行なわせて

くださるのです。』(ピリピ2:13)

御言葉の通り、つぶやかず疑わずに行なったキング牧師は、世の光として今も輝いています。